



# 行田市の観光行政の取組について

駒見行彦(令和研究会)



問

岸和田市に視察で訪れた

際「オシロボット」カードを  
いただいた。お城を有する國  
内の市町村が登録するもので、  
本市においても「オシロボッ  
ツ」へ登録し更なるお城ファ  
ンの獲得に向け取組んでみて  
はどうか。

答

本市としても、忍城と口

ボットを組み合わせた取組は  
大変話題性があると認識して  
おり、先進自治体の取組を参  
考に導入について検討してま  
いりたい。

問

田んぼアート稻刈り後の

跡地有効活用について、市内  
にある園芸専門学校テクノ・  
ホテルティやものつくり大学と  
の連携事業や市内NPO等と  
の共催を考えはどうか。

答 過去に市内で花いっぱい  
運動を行い連携したことがあ  
る。

今後刈取り後の活用を検討  
する中で、この2校に限らず、  
効果を高めるため連携の可能  
性について考えていく。

# スマート農業と 6次産業化を重点分野に

新諒平(令和研究会)



問

これまで市は「雇用を生  
む企業ならどこでもいい」と  
の方針だったが、重点分野を  
定めるべきでは?

答

特定の産業に絞るのでは  
なく、雇用を生む企業を幅広  
く誘致する方針だが、行田市

の基幹産業である農業には特  
に注力し、スマート農業の導  
入と6次産業化を推進する。

問

農地の集積や法人化、スマ  
ート農業関連の研究施設の誘  
致を進め、農業を成長産業と  
して育てる。

重点課題に「産業の創出  
と雇用の促進」が掲げられて  
いるが予算が少ないのでは?

例えば、令和7年度の企業誘  
致促進事業の予算は十分な  
のか?

答 企業誘致促進事業の予算  
は約954.3万円で、埋蔵

文化財の試掘や企業誘致活動  
の調査に活用。企業立地のた  
めの環境整備は進めているが  
雇用創出に直結する施策への  
予算は十分ではない。ただし、  
企業誘致方針を具体化する中  
で、支援制度の導入も含めた  
今後の施策を検討する。

# 企業誘致および行田の産業について

小林淳一(令和研究会)



問

埋蔵文化財の先行試掘調  
査の進捗状況について。

答

9地区26箇所の調査を実  
施済。来年度も8地区27箇所  
の調査を予定している。

問

農業従事者の推移は。  
農家数は10年間で約3割  
減少し、農業従事者数は約4  
割減少している。

問

6次産業化の具体的な事  
例はあるか。

答

行田在来青大豆の商品開  
発・販売促進協議会が独自の  
商品を販売し、試作品の開発  
も進んでいると聞いている。

問

植物工場の設置や誘致は  
可能か。

答

農業振興地域の整備に関  
する法律や農地法の基準を満  
たせば、立地の見込みはある。

問

〔その他のお質問〕

○市役所および市役所周辺の  
駐車場利用について